

知ちよる?

高鍋神楽

No.3

高鍋神楽の特徴って何？編

作画:ごとうきよ

高鍋神楽の特徴

今回は
ざっくりと
高鍋神楽の
特徴を
お伝えします！

旧高鍋藩の六つの神社が
奉納する神楽

六社連合大神事

明治時代に
消えゆく神楽を
後世に残すべく
6社が一同に集まり
神楽を統合して
順番で奉納

愛宕
平田
白鬚
ハ幡
ハ坂
比木



神幸祭とは
神社の神さまを
神輿などに移して
巡行(移動)する祭じゃ



比木神社から神門神社の
神幸祭で舞う神楽

神門神幸祭(師走祭り)

神門神社に祀られる
百済の禰嘉王と
比木神社に祀られる
息子の福智王が
年に一度対面する儀式
比木神社の一行が袋神(福智王)を
奉じて、父のいる神門神社(美郷町南郷)
まで巡行し、神楽などを奉納



招請型の神楽

※招請とは:
頼んで来てもらうこと

里神楽

依頼されて舞う
神楽



名を持つ神幸祭で
舞う神楽

お里まわり

旧高鍋藩領を
2日間かけて神輿が
練り歩き各地区で
神楽を舞う



六社連合大神事は

『大神事』とも呼ばれる

1年に1回



(休止中)

6社が順番に当番を
務める神楽奉納

舞う演目は、その年によって異なる。
(番数)

この方式は
全国的にみても大変
めずらしいですが、
奉納神楽の演目(番数)は
全部で33あります。
その中でも異色の舞を
紹介します。

寿の舞

謎めいた異色の舞
背おわれて登場し、
終始よろよろしている。



大神神楽

天照大神を五柱の
神が問答を交わし
岩戸から連れ出そうと
する。

